

電通総研、AI-Ready なデータ分析基盤の導入・継続運用ソリューション ディーセマントリックス 「Dsemantrix AI」の提供を開始

－ LLM を活用した自律的改善ループにより、実業務で機能し続けるデータ基盤の構築を支援 －

テクノロジーで企業と社会の進化を実現する株式会社電通総研（本社：東京都港区、代表取締役社長：岩本 浩久、以下「電通総研」）は、企業における AI-Ready^{※1} なデータ分析環境の構築から導入後の継続運用までを包括的に支援するソリューション「Dsemantrix AI（ディーセマントリックス エーアイ）」の提供を開始します。

本ソリューションは、従来の人が手作業で行うプロンプト調整やデータ補正に依存せず、LLM（Large Language Model：大規模言語モデル）を活用した自律的な運用改善ループを構築することで、実業務環境においても AI が正しく機能し続けるデータ基盤の実現を支援します。



<「Dsemantrix AI」サービス概要図>

■背景

多くの企業が生成 AI や自然言語によるデータ検索・分析の導入を進めていますが、PoC では期待通りの結果が得られても、多様なデータが交錯する実業務環境へ展開した際に精度が低下し、運用が定着しないケースが生じています。その主な原因は、AI 自体の性能不足ではなく、業務定義の不一致や文章化されていない暗黙知、データ品質のばらつきなど活用するデータに要因がある場合が多いのが現状です。

こうした課題に対し、電通総研は AI エンジニアによる都度の手作業に頼るのではなく、データの意味や品質を自動的に・継続的にアップデートする仕組みを提供します。

■ 「Dsemantrix AI」の概要と特長

「Dsemantrix AI」は、企業が所有する多様なクラウドデータプラットフォームにおいて、AI エージェントが正確な結果を出力し続けるための構造的アーキテクチャおよび継続改善の仕組みを構築・提供するサービスです。

1. 5 層アーキテクチャによる構造的アプローチで、変化に強い AI-Ready なデータ分析基盤を実現

利用層、運用層、分析層、メタデータ管理層、データ層の 5 つのレイヤーで機能を明確化し、AI エージェントとデータ基盤を効果的に連携させます。

各レイヤーを分離することで、データや AI 技術、利用環境の変化に応じて必要な機能を柔軟に改善・拡張できます。

2. LLM を活用した自律的改善ループを構築

AI の回答精度が落ちた場合、システムがモニタリングを通じてログを解析し、原因分析からデータカタログ・セマンティックモデルの修正案立案までを自律的に実行します。人は最終承認のみを行うため、運用の負担を大幅に軽減します。

3. データ品質を保つ統合データガバナンスの構築

AI が正しい分析結果を導くために不可欠なメタデータ整備および継続的なデータ品質管理をシステムの組み込みます。当社が培ってきたデータ品質管理ノウハウ(品質管理ソリューション「Dqualitex」^{※2} 等)を活用し、データの作成から AI 参照までの全工程で自動的に品質を監視・検証します。

4. マルチプラットフォーム対応

特定のクラウドサービスに依存せず、お客様が導入済みの既存 DWH/レイクハウス環境をそのまま生かして段階的に導入・拡張することが可能です。

今後も電通総研は、「Dsemantrix AI」をはじめとしたデータ基盤構築・AI 活用サービスの提供を通じて、企業のデータドリブン経営および生成 AI の現場定着を支援してまいります。

※1 <https://journal.meti.go.jp/keizaiword/46647/>

※2 <https://data-management.dentsusoken.com/solution/dqualitex/>

<ご参考資料>

- ・ [「Dsemantrix AI」について](#)
- ・ [「DdataGallery」について](#)
- ・ [「Dqualitex」について](#)

2026 年 08 月 03 日

[電通総研、データ・システム・組織をつなぎ“AI-Ready”な企業データ基盤を実現する「BusinessSPECTRE\(ビジネススペクトル\)」シリーズの新オプションソリューション「DdataGallery\(ディーデータギャラリー\)」を提供開始](#)

■電通総研について <https://www.dentsusoken.com>

電通総研は、「HUMANOLOGY for the future～人とテクノロジーで、その先をつくる。～」という企業ビジョンの下、「シ

ステムインテグレーション」「コンサルティング」「シンクタンク」という3つの機能の連携により、企業・官庁・自治体や生活者を含めた「社会」全体と真摯に向き合い、課題の提言からテクノロジーによる解決までの循環を生み出し、より良い社会への進化を支援・実装することを目指しています。

テクノロジーや業界、企業、地域の枠を超えた「X Innovation(クロスイノベーション)」を推進し、これからも人とテクノロジーの力で未来を切り拓き、新しい価値を創出し続けます。

* 本リリースに記載された会社名・商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

株式会社電通総研 営業第二本部 エンタープライズソリューション営業3部 中西、西村

E-Mail: g-datamanagement-sales@group.dentsusoken.com

Web からのお問い合わせ: <https://data-management.dentsusoken.com/inquiry/>

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社電通総研 コーポレートコミュニケーション部 野瀬

TEL: 03-6713-6100 E-Mail: g-pr@group.dentsusoken.com